

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おねがい☆ツインズ10周年木崎湖記念事業
事業主体 (連絡先)	おねがい☆ティーチャー10周年木崎湖実行委員会 (事務局: 木崎湖キャンプ場 Tel.0261(23)3939)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 ア、特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,726,808円 (うち支援金: 1,072,000円)

事業内容

アニメの聖地として全国のファンの皆様に愛されて来た大町市木崎湖。昨年のおねがい☆ティーチャー放送開始10周年の盛り上がりをもとに、周辺地域、ファンのみなさんと共に実行委員会を結成し記念事業を企画しました。

メインイベント*arch*では監督、メインキャスト声優のトークショー、書き下ろしイラストを使っての新規音声披露を行った。

開催に向けて、全国のアニメイベントでのPR活動、周辺地域でのPRを行い、イベント当日は大いに盛り上がった。

特別運行列車、巡礼バスは実現させる事が出来なかった。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 C 】

【目標・ねらい】

- 10周年の節目を機に、改めて「聖地」木崎湖の魅力をアピール
- これまで地域での取り組みを支えたファンに感謝し、未だ来訪していないファンが改めて訪れるきっかけづくり
- 地域のイベントや近隣観光にファンが参加する協働の推進

事業効果

メインイベント*arch*にはあいにくの雨、他イベントとのブッキングもありながらも670名が来場、日曜日開催で近隣への宿泊、周辺観光に結びついた。

有名声優を呼ぶことにより、作品を知らない声優ファンに木崎湖を知ってもらえるきっかけ作りができた。

イベント告知の詳細を地元中心の発信にしたため、情報収集のためにメインイベント以外の時期への集客に結びつけることができた。

また期間を通して行ったスタンプラリーには1200名が参加。スタンプ台紙の回収は900人以上となった。

木崎湖花火大会、JR海ノ口でのイベントに参加するファンが増え、更に協働が進むなど、実行委員会形式をとった事で、これまでの個人事業者とファンの個々による草の根にとどまらず、市内外の他団体との交流も始まった。アニメによる地域づくりに取り組む他地域との情報交換などが期待される。

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

__木崎湖でのアニメ聖地巡礼は、地域とファンの結びつきが深く、イベント開催の際にはほとんどがファン有志のボランティアスタッフで構成されており、地域に深い愛情を注ぐリピーターを生み出している。これまでの取り組みが、10周年という節目を契機に地域や関係者を巻き込み一体となった機運を生かし、今後も迎え入れを継続する。

今後もファンの希望に答え、思い出に残るおもてなしを続けることで、さらなる末永い交流につなげたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある